



県立高校の魅力化 × 地域活性化

県と市町連携のもと「高校・地域連携コンソーシアム」を設置して、地元の高校を中心とした地域創生と、高校の魅力化を図る事業が始まりました。

学校

地域資源を活用した
学びの創出や
イベント・取り組みを企画
生徒の自主性や創造性、実践力を
つくる教育

地域

「地域の子どもを
地域で育てる」機運を
高校と一緒に醸成

高校生の地元愛を高める

地元高校の魅力が高まる

高校生の地元定着につながる

地域が盛り上がる!

事例紹介

新上五島町

島育～島には“愛”と“夢”がある～

新上五島町では、2024年度からの本格的な活動開始に向けて、高校だけではなく、島全体が連携した取り組みの検討・計画が進んでいます。島内の幼稚園から高校まで一貫した「ふるさと教育」や、IT人材・起業家教育などを通じて、将来の島の存続・発展に貢献する子どもたちを育てていきます。



2023

10 / SAT
14

事例紹介 島原市と市内県立学校による

共創プロジェクト

島原ならではの学びに挑戦



島原、島原農業、島原工業、島原商業、島原特別支援の生徒でつくる実行委員会が中心となり、島原市街地で昨年から行われているイベント「島原城大手門市」へ参加。5校が特色を生かしたブースを設置したり、ステージでアトラクションをしたりして盛り上げました。地域ならではの探究学習やスマート産業を取り入れた学びの充実を目指します。

生徒が協力して運営「Mijoかふえ」



生徒の制作物など販売「島商ップ」



主な内容

- ステージ
 - 合唱・管弦楽…(島原)
 - 和太鼓 ……(島農)
- ブース
 - マルシェ……(島農)
- 店舗運営
 - Mijoかふえ……(5校)
 - 島商アップ……(島商)
- 展示
 - ミニバス、木工体験
マイコンカー、射的 ……(島工)
 - 学習成果 ……(島原)
 - 新制服、学科案内 ……(島農)
 - 手作りドレス…(島商)
 - 器などの作品…(特支)

5校の魅力発信!

生徒実行委員会メンバー

島原城大手門市で5校の個性を生かした取り組みの発表を通じて、島原の豊富な観光資源や魅力を発信しようと企画・準備してきました。共創プロジェクトで学んだことを今後の活動に生かして、高校生の力で地域をもっと元気にしたいです。



委員長 伊藤聖光さん(島原高2年)

- 目標
- ①地元中学生から選ばれる学校
 - ②島原応援団の育成

プロジェクトは
2025年まで
計画中!

馬場先生ってどんな先生?

県立島原工業高校出身。民間企業を経て工業の「実習助手」として採用。5年間働きながら勉強を続けて教員採用試験に合格し、今年で教師2年目です。

先生のリフレッシュ方法

とにかく体を動かすことが好き! 休みの日はランニングしたり、カメラを持って旅行に出たり。天気など条件がそろっていい写真が撮れると爽快です。

Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く
先生たちにスポットを当てます

今回紹介するのは
県立鹿町工業高校の

馬場雄大先生
恩師の影響で教師の道へ

教員を目指したきっかけは

高校3年の就職活動時期に東日本大震災などの影響で、目指していた企業の求人がなくなりました。落ち込みましたが、先生たちが親身になってサポートしてくれたのを覚えています。民間企業に就職して人を指導する立場になり、自然と教師という職業に憧れを持つようになりました。

この仕事に就いて良かったと思うとき

生徒の「???」が「!!!」になった時はやりがいを感じます。モノとは違って生徒はそれぞれ表情や考えが毎日変化します。そこを敏感に感じて寄り添うことはとても難しく感じますが、他の先生方の助けやアドバイスを受けながら、生徒と一緒に汗を流して笑って、成長する毎日です。

休日の過ごし方は?

小さい頃から鉄道ファンで、休みの日はカメラを持って出かけています。昨年は新幹線駅の最西端「長崎駅」から最北端「新函館北斗駅」まで新幹線だけで旅行しました。平日は多忙ですが休暇制度が充実しているので、休みの計画が立てやすく、メリハリを持って働けています。